

第11回高校生理科研究発表会で最優秀賞受賞！

9月30日（土）、千葉大学西千葉キャンパス（千葉市稲毛区弥生町1番33号）において、「第11回高校生理科研究発表会」が開催され、本校より**科学研究部**の4年次生と5年次生が日頃の研究の成果を発表しました。「高校生理科研究発表会」は、各高校・大学・研究機関等が協力して、全国の高校生を対象に行われています。

参加校は400校を超え、**発表件数は333件**、1000人を超える高校生がポスターセッションを行うたいへん大きな大会です。発表分野は、大きく5つの分野に分かれており、ポスターを使って、自分の研究を発表しました。大学の先生からもアドバイスをいただけるなど有意義な大会となりました。

結果は、**化学Ⅰ分野**において田中歩君（5年次）の「エチレンがアリルイソチオシアネート生成量に与える影響」、**生物Ⅰ分野**において市川尚人君（4年次）の「光の波長が及ぼす蚕への影響」、**生物Ⅱ分野**において小野寺理紗さん（5年次）の「地衣類の『着生』と『成長』から微環境を探る」が**優秀賞**を受賞しました。

そして、**小野寺さんの研究**が優秀賞の中の頂点である「**最優秀賞**」を受賞することができました。333件の研究の中で頂点である最優秀賞を受賞できたことは、本校にとってたいへん喜ばしいことです。入学してから始めた研究テーマについて、**5年間コツコツと努力して**研究してきた結果、このような賞を受賞できたことは、科学研究部の後輩だけでなく、彼女のひたむきな姿勢を見てきた5年次生（本校6回生）にとっても大きな励みになることでしょう(^_^)!!。

